

## ファミリー読書の日

## 1 活動の概要

大井町では令和4年度から毎月第1日曜日を「おいファミリー読書の日」としている。読書の習慣を育てるだけでなく、家族みんなで読書に親しむ時間をつくることで、テレビやインターネットなどから離れ、家族のコミュニケーションを深めていくことも目的としている。

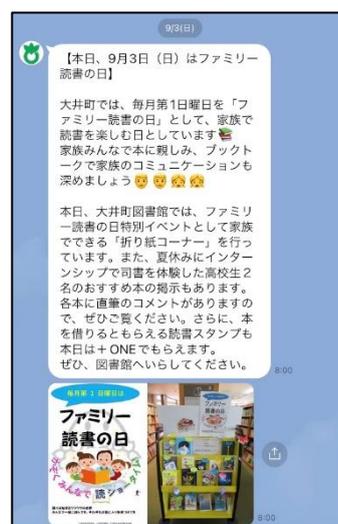
これまで町では、県が取り組むファミリー読書の日について町民に広めていたが、なかなか周知ができていないのが現状であった。令和元年度に町内幼稚園・保育園の保護者にアンケート調査を行ったところ、認知度はたった3%だった。そこで、大井町図書館を中心に社会教育委員と連携し、大井町らしいファミリー読書の日の確立とその啓発に取り組んだ。



ファミリー読書の日

## 2 活動の状況、実際

- 図書館の催し…毎月第1日曜日に図書館にのぼり旗を立て、「家族で楽しめる折り紙コーナー」を設置している。
- ポスターの掲示…社会教育委員が独自のポスターを作成した。町内の幼稚園や保育園、小中学校、公共施設等に掲示している。
- SNS等による通知…町広報誌での掲載の他、当日の朝、町公式のLINEやFacebookを使い、大井町図書館の案内とともにファミリー読書の日のアナウンスを行っている。
- イベントの実施…令和4～6年には、町の文化祭などにおいてファミリー読書の日を啓発するための特別なおはなし会を、読み聞かせボランティアが図書館で実施した。近くの公園に遊びに来ていた家族などに社会教育委員が声をかけ、多くの方が参加している。



当日の8:00にLINEで通知

## 3 参加者、指導者等の声

- ・【社会教育委員】ファミリー読書の啓発に向けて取り組んで3年になるが、自分自身も読書を楽しむきっかけになっている。特に、イベントで読み聞かせを行ったときには、子どもが喜んでくれてとても嬉しかった。
- ・【図書館職員】毎月第1日曜日に、図書館内に折り紙コーナーを設置することで、本を見ながら親子で折り紙を楽しむ様子が見られる。親子で夢中になって取り組んでいる姿は微笑ましく、ファミリー読書の日恒例の風景である。
- ・【参加者の保護者】町のイベントで子どもが選んだ本を読み聞かせしてもらえて、とても嬉しそうだった。上手な読み聞かせではなかったが、これまでそういう読み聞かせはなかったので、とても新鮮だった。



社会教育委員が町のイベントで読み聞かせ